

## Title: 「股旅-gdeh special-」



山市 直佑  
1985年栃木県生まれ。祖父母に多大な影響を受けながら育つ。滝の原健児の気持を今でも忘れていない。日本写真芸術専門学校助手を経て、現在大学院生兼フリー。

## ● 最近のエントリー

☑ 母校-alma mater-  
(2010.02.28)

## ● アーカイブ

☑ Oktober 2012  
☑ März 2011  
☑ September 2010  
☑ August 2010  
☑ März 2010  
☑ Februar 2010  
☑ März 2009  
☑ Februar 2009  
☑ November 2008  
☑ Oktober 2008  
☑ September 2008  
☑ Juli 2008  
☑ Juni 2008  
☑ April 2008  
☑ Januar 2008  
☑ Dezember 2007  
☑ November 2007  
☑ Juli 2007  
☑ Mai 2007  
☑ April 2007  
☑ März 2007  
☑ Februar 2007  
☑ Januar 2007  
☑ Dezember 2006  
☑ November 2006  
☑ Oktober 2006  
☑ September 2006  
☑ August 2006  
☑ Juli 2006  
☑ Juni 2006  
☑ Mai 2006  
☑ April 2006  
☑ März 2006

## ● 投稿カレンダー

## ● カテゴリー一覧

☑ countries report

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

**OLYMPUS**  
Your Vision, Our Future

RSS 2.0

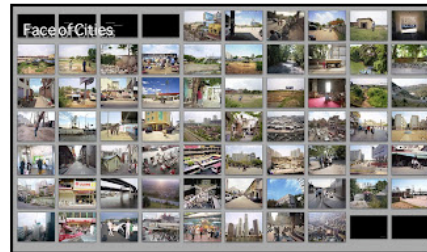
母校-gdeh\_special- > Februar 2010 アーカイブ

10.02.28

## | 母校-alma mater-

[Tweet](#)

[Check](#)



いろんなことを考えて写真を撮る。

何も考えず、「なんとなく」写真を撮るのは得意じゃない。

何も考えずレンズを向けても、結局何をしたいのかわかんなくなって、自分の意味さ見え失いそうになる。

2010年2月27日。@NPI。

母校に来て、ちょうど1年前にこの機材室でプリントしていた写真を、今度は全然違う雰囲気仕上げたくて、ディスプレイに向かって閃々としながら編集して、曲をつけて、スライドショーにして、上映した。

アンシャープマスクが甘すぎて、ピントが甘かったけれど、ずっと迷っていたことが、なんか、なんとというか、少し吹っ切れた気がした。まだまだ甘いのはわかっているんだけど。

1年前前にここで書いたことだけれど、本当に簡素な荷物で旅に行きたかった。それを2009年に果たした。

夏。

ふらりと旅に行って、帰ってきて思ったのは、

上に書いた、「なんとなく」は得意じゃない、ということ。

ギターを弾いたり、本を書いたり、いろんなことをしていても、結局「なんとなく」は得意じゃなくて、  
というか嫌で、  
今はその理由がわかった気がする。

スライドショーの後、

FWコースの1、2、3、4期生がそれぞれ参加した飲み会があって、全員が参加した訳じゃないけれど、その席で不意に「本当にこの学校を選んでよかった」と感じて、思わず息をのんで、心臓が止まりそうになった。学校って何かを学べるどころだけれど、人生をここまで学べる学校は全国探してもそうそう無いだろう。人生を学ぶ、ってすごく大げさだけれども、本気で先生が扱ってくれるから、本気でぶつかると思えるし、話をするたび、ハッとさせられたり、違った発見をしたり、感心したり感動したり、ぼーっとしてられない。友達も、卒業以来会っていなかった宮沢さんとかが来たけれど、全然久しぶりの感じがなくて、「その後どうしてる？」じゃなくて「元気ー？」で話が進んで行く。友達って、ほんとは昔の話ばかりする人じゃなくて、どんなに時間の隔たりがあっても現在とかその先の話をできる人のことをいうんじゃないかな、と思う。そういうすべてが本当に、この学校に入って得た、一番の宝物だ。

新しく見つけた写真のきっかけは、やっと先生に見せることができて、そして返ってきた言葉の数々に、また感動しっぱなしだった。嬉しいことも辛いことも、全部、感動だった。写真の環境から離れてから、写真の話で大学の友達としても弾んだりもしないから、当たり前だけれど、そこじゃない。それがここにくると当たり前前に弾んで、渋谷から品川周りの横浜までの1時間、ずっと写真の話だった。定期的にNPIに来ないと自分は死んじゃうんじゃないか、と焦るくらい、楽しかった。

また写真が撮りたい。

また新しい発見をレンズの向こうに重ねたい。

3月は、もう、それに埋もれていこうと、心に決める。

カテゴリ:

post by 山市 直佑 | 日時: 2010.02.28 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)